

新育第 1 2 3 6 号の 2
令和 5 年 1 1 月 8 日

各教育・保育等施設長 様

新潟市 こども未来部
保 育 課 長
(担当 保育指導グループ)

令和 5 年度（上半期）事故集計報告について

日ごろより、保育中の園児の健康及び安全について十分ご配慮いただき感謝申し上げます。

また、保育中の事故報告の提出についてもご協力いただきありがとうございます。

本年度上半期（4 月～9 月）の「災害報告書(市立)」「事故報告書(私立)」を集計し、結果を別紙のとおりまとめましたので、ご報告いたします。

事故における全体の傾向について、ご確認いただき、事故再発防止の参考にさせていただきますようお願いいたします。

◆問い合わせ先◆

こども未来部保育課 保育指導グループ

T E L 025-226-1215

別紙

事故発生報告資料
(令和5年度上半期)

【事故報告件数(R5.4月～9月)】

* 事故報告件数は、市立・私立保育園、認定こども園、地域型保育事業施設の合計

令和5年度年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
報告件数(合計)*		134	158	145	116	123	123	799
部位別※	頭	8	15	7	4	6	7	47
	額	4	14	7	7	2	10	44
	目・目の周り	31	20	20	10	16	13	110
	頬	10	6	4	5	5	4	34
	耳	1	1	0	1	1	1	5
	鼻	1	4	2	5	5	1	18
	歯・口腔・口の周り	49	55	51	43	44	42	284
	あご	6	6	7	2	5	2	28
	体幹	2	2	2	1	3	2	12
	上肢	18	21	27	27	25	30	148
	下肢	4	14	18	11	11	11	69

※ 今年度より分類方法を見直しました。
昨年度まで、「その他」に分類していたものを
今年度から「体幹」「上肢」「下肢」として
「部位別件数」をさらに詳細に分類しました。

前年度との比較

<4月～9月の事故発生件数>

R5年度 799 件

R4年度 755 件

<4月～9月の

国報告対象となった重大事故>

R5年度 7 件

R4年度 5 件

※R4.その他…表示部位や骨折・肘内障以外のケガ

令和4年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
報告件数(合計)*		112	124	163	133	70	153	755	152	135	133	115	117	128	1535
部位別※	骨折	4	8	2	6	5	13	38	10	9	7	3	2	9	116
	頭	7	9	11	8	4	8	47	4	5	3	3	7	5	121
	口・歯	35	33	50	50	22	39	229	45	42	45	48	43	41	722
	目・目の周り	10	10	24	13	7	26	90	23	26	13	12	16	17	287
	額	4	10	11	5	3	15	48	15	1	15	7	5	7	146
	鼻	5	2	2	1	2	3	15	7	7	3	1	2	2	52
	あご	4	3	4	4	4	3	22	2	3	3	6	2	2	62
	頬	12	8	14	5	6	5	50	7	8	7	11	6	9	148
	肘内障	11	16	16	15	6	11	75	12	17	10	8	6	10	213
	その他	20	25	29	26	11	30	141	27	17	27	16	28	26	423
うち県・国への報告		1	2	0	0	1	1	5	2	2	0	1	1	0	11

4月～9月の事故報告件数を前年度と比較すると、44件増加しています。

過去2年と比較すると

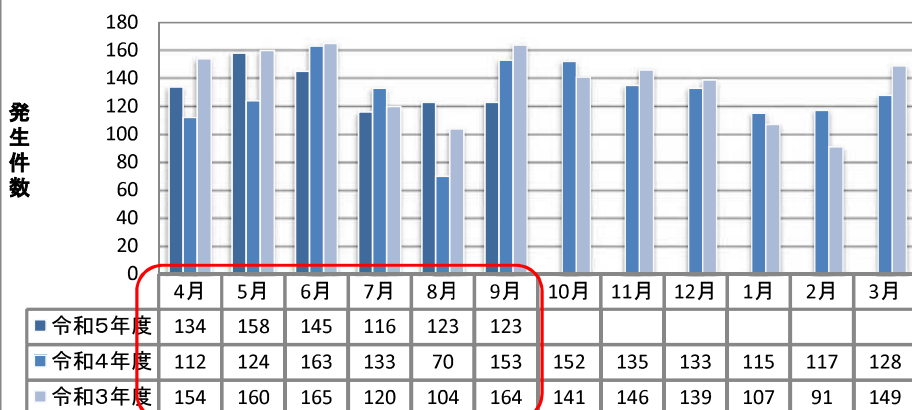
令和3年度 867件

4年度 755件

5年度 799件

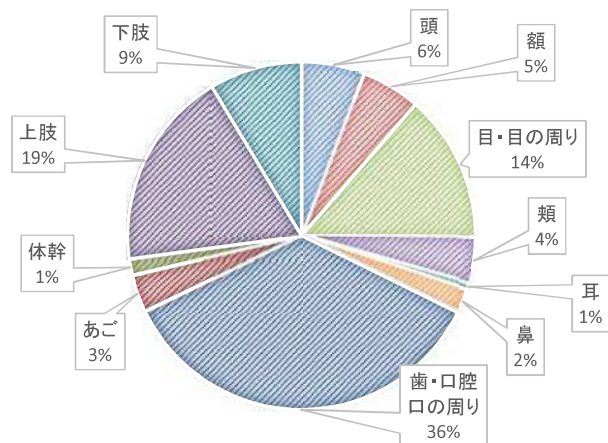
となっており、昨年度、新型コロナウイルス感染拡大により減少した事故報告件数が、今年度は増加に転じています。

【月毎の事故報告件数】



【部位別事故件数の割合】 (R5.4月～9月)

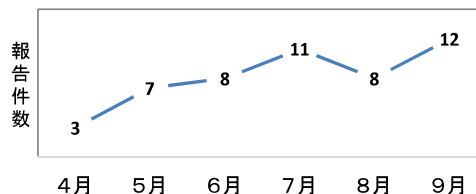
事故発生報告資料
(令和5年度上半期)



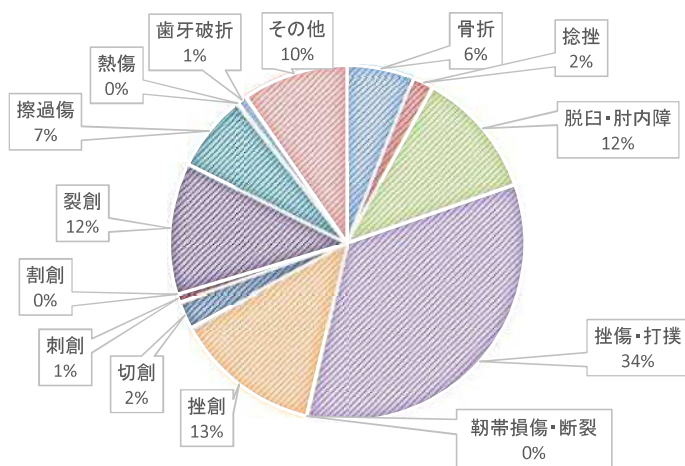
昨年度まで「骨折」「肘内障」「その他」に分類していたものを今年度から「体幹」「上肢」「下肢」として「部位別件数」をさらに詳細に分類しました。

円グラフを見ると、「歯・口腔・口の周り」に次いで「上肢」の事故が多いことがわかります。上肢の負傷の種類としては、「肘内障」「骨折」が多く報告されています。

骨折事故発生報告数(月別)



【負傷別事故件数の割合】 (R5.4月～9月)



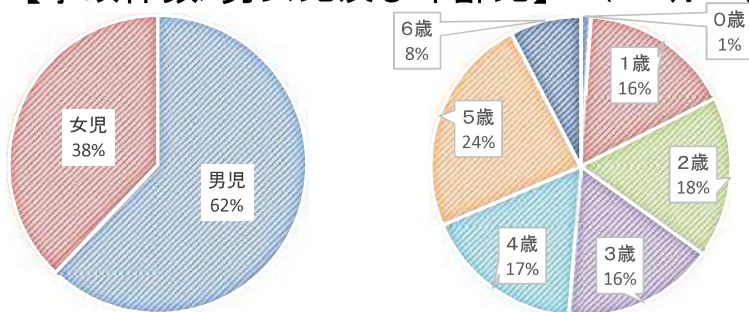
R5年度上半期、骨折事故は49件発生しています。その内訳は、上肢30件、下肢17件、体幹(鎖骨)1件、顔面(歯槽骨折)1件でした。上肢の骨折が多く、肘など関節部分の骨折には、手術を伴うケースがありました。

事故報告:負傷の種類間違っていますか?

はさみ・カッターで手を切った・・・切創○
転倒して机にぶつかり額が切れ出血した・・・挫創(切創は×)
虫に刺された・・・その他(虫刺症)○ 刺創×

※報告書の裏面にて、詳細を確認できます

【事故件数/男女比及び年齢比】 (R5.4月～9月)



	男児	女児	計	年齢比
0歳	3	6	9	1%
1歳	89	42	131	16%
2歳	84	55	139	17%
3歳	81	50	131	16%
4歳	82	56	138	17%
5歳	123	67	190	24%
6歳	34	27	61	8%
計	496	303	799	

男女比はおおむね6:4で、例年の傾向通りです。

年齢比では、1歳・2歳も他の年齢とほぼ同じ割合で事故が発生しています。まだ歩行が安定しない乳児は特に転倒への注意が必要です。手に玩具を持っていたために、顔面への負傷につながるケースも報告されています。

上半期、家庭から持参している「水筒」による事故が数件ありました。重さのある水筒を足に落としたり、バランスを崩して置いてあった水筒にぶつかったり、水分補給しているときに他児がぶつかって口元を傷つけたり場面は様々です。

これからの季節は、防寒着を着用して登園する園児さんが増えてきます。防寒着の着脱の際、踏んで滑ったり引っかかり、防寒着を掛ける際、コート掛けにぶつかったり転倒するなどの事故が毎年発生しています。どのような事故が想定されるか、各施設において職員間で確認しておきましょう。

